

# 平成24年(2012年) 新春講演会並びに賀詞交歓会

## 総務委員会

去る平成24年1月20日(金)、仙台ガーデンパレスにて東北地質調査業協会、社団法人全国さく井協会東北支部、社団法人斜面防災対策技術協会東北支部の3協会合同による恒例の新春講演会及び賀詞交歓会が開催されました。

新春講演会では、講師に国土交通省東北地方整備局技術調整管理官の伊藤友良様をお迎えし、「公共事業を取り巻く最近の状況について」と題して、1) 東日本大震災の対応状況と活用された道路、2) 震災の教訓等から得る道路整備の必要性、3) 第3次補正予算と執行状況、4) 震災対応のアンケート結果、の各内容についてご講演を頂きました。



伊藤友良様のご講演

途中、防災ヘリコプターみちのく号による震災直後の空撮画像やCCTVカメラの画像による生々しい津波被害の状況についてご紹介があり、参加者は食い入るように画面を見つめていました。

ご講演の締め括りには、「まさかの時に対する備えがいざという時の対応を早める」、「常日頃からその場所の地質状況を把握しておくことの重要性」、「社会に貢献していることを一般に広く認識してもらうためには視覚的に訴える画像が有効」、といった貴重なメッセージを頂きました。

引き続き行われた賀詞交歓会では、直前まで行われた新春講演会で熱弁を揮われた伊藤様にもご参加頂き、3協会総勢89名の参加者と報道関係者も加わり、大変な賑わいとなりました。

開会に際し、3協会を代表して当協会理事長の早坂功氏が挨拶に立ち、「今年は復興元年として大変重要な年になる、参加者各位

が協力しあい復興に貢献しよう」との力強いメッセージが発せられ、続いて社団法人斜面防災対策技術協会会長兼東北支部長(当協会副理事長) 奥山和彦氏による乾杯の発声で宴席がスタートしました。



新春講演会場の様子

久々の再会に互いの近況を確認し合う姿や、この季節恒例の東北各県から集まった会員による各地の積雪状況の話題を肴に酒を酌み交わす姿が見られ、終始和やかな賀詞交歓会となりました。



早坂理事長の年頭挨拶

締め括りは、社団法人全国さく井協会東北支部長(当協会理事総務委員長)の 大友秀夫氏が、3協会員及びそのご家族の健康と健勝を祈念した手締めを行い、盛会のうちに開きとなりました。



賀詞交歓会場の様子